

第 8 8 5 回

定例教育委員会会議録

日 時 令和 3 年 5 月 2 7 日 (木) 1 3 : 3 0 ~

場 所 益田市役所 第 1 会議室

益田市教育委員会

第885回 教育委員会定例会

招集年月日 令和3年5月27日（木）13時30分～

招集場所 益田市役所 第1会議室
※教育委員はリモート参加

議事日程

第1 会議録の承認

第2 教育長報告

第3 議題

報第20号 益田市奨学金貸付審議会委員の委嘱について

報第21号 史跡益田氏城館遺跡群整備検討委員会委員の委嘱について

報第22号 益田市総合管理計画個別施設計画（第1期）及び直近の検討状況
に基づく、市民文化系施設の整備方針について

報第23号 令和3年度5月益田市一般会計補正予算について

第4 その他

(1) 協議

・令和3年度（令和2年度事業分）益田市教育委員会事務事業点検・評価
について

出席者

教育委員会	教 育 長	高 市 和 則
	教 育 委 員	村 上 三 恵 子
	教 育 委 員	中 野 純
	教 育 委 員	梅 津 富 美 子
	教 育 委 員	大 庭 隆 志

事務局職員	教 育 部 長	野 村 美 夜 子
	ひとづくり推進監	大 畑 伸 幸
	教 育 総 務 課 長	長 嶺 勝 良
	学 校 教 育 課 長	田 原 啓 文
	学 校 教 育 課 参 事	松 元 善 生
	文 化 財 課 長	山 本 浩 之
	人 権 ・ 同 和 教 育 推 進 室 長	岡 崎 勝
	美 都 分 室 長	田 中 一 史
	匹 見 分 室 長	齋 藤 一 臣
	教 育 総 務 課 長 補 佐	齋 藤 勝 義
	教 育 総 務 課 主 任 主 事	岩 崎 俊 也

高市教育長 ただいまより第885回益田市教育委員会定例会を開催いたします。
それでは、議事に入らせていただきます。

第1 会議録の承認

高市教育長 会議録の承認につきましては、先ほどご承認いただきました。

第2 教育長報告

高市教育長 次に進みまして、第2の教育長報告でございます。前回の教育委員会からの活動状況でございます。

4月28日でございますが、教育委員の皆様もご参加の上、中西小学校で内覧会がございました。先生方にも学校の状況をご覧いただいたということで、子供たちが真新しい学校においてにぎやかに活動している状況、また学校の教員も戸惑いなく新しい学校で教育活動を行っている実態等をご覧いただきました。

続きまして、5月11日と13日です。こちらは、市内の小・中学校の校長と面接を行いました。こちらにおいては、人事評価という流れの中で行ったものでございますけれども、そういった中で各小学校、中学校の校長先生方の各学校の実情等を拝見することができたということで、私も全部の学校は見て回れていないところですが、各学校が抱えている課題や主として考えている課題について意見交換ができたと思っております。

続きまして5月14日でございます。これは、後ほど事務局からご説明があるかと思いますが、補正案について審議等をしていただきました。

5月15日でございます。土曜日でしたけれども、学び舎ますだの第1回目が行われました。当日は、市内の小学校、中学校の児童・生徒が朝から集まっていたのが8名、最終的には15名が集まったということで、子どもたちが学習に対して意欲的に向かっているという実態が見えて、私としても非常に心強く思ったところでございます。また、当日はボランティアで退職校長先生がサポートに来ていただき、市全体を挙げて、子どもたちの学びをサポートしていくという姿勢が示せたと思っております。

また、こちらは11時からございましたけれども、聖火リレーが行われたところです。コロナウイルス感染症の拡大の状況等で、無観客で寂しい形にはなりましたが、五輪実施に向けて、市内全体での意識というのでしょうか、期待の向上ができたと思っております。また、市役所前には神楽の子どもたちが来て演奏し、非常に華やかなものになったと

感じております。

教育長報告としては以上でございます。この件についてよろしいでしょうか。

教育委員

=全員了承=

第3 議題

○報第20号 益田市奨学金貸付審議会委員の委嘱について

高市教育長

それでは、これから第3の議題に移らせていただきます。

報第20号益田市奨学金貸付審議会委員の委嘱について、事務局より説明をお願いします。

長嶺課長

それでは、報告の第20号益田市奨学金貸付審議会委員の委嘱について報告をさせていただきます。

任期につきまして、お手元の資料をご覧ください。今年度から4年間です。梅津委員、大庭委員、よろしくお願ひしたいと思っております。併せまして、ほかの委員ですが、河上副市長、それから高市教育長、益田市の藤井総務部長、それから中学校の代表として益田東中学校の校長先生の倉橋先生、それから元小学校校長ということで吉松さん、それから益田東高校の校長先生の坂田先生、以上の皆さんでお願いしたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

高市教育長
教育委員

それでは、この件についてよろしいでしょうか。

=全員了承=

○報第21号 史跡益田氏城館遺跡群整備検討委員会委員の委嘱について

高市教育長

それでは続いて、報第21号史跡益田氏城館遺跡群整備検討委員会委員の委嘱について事務局より説明をお願いします。

山本課長

それでは、報第21号につきまして、山本より説明をさせていただきます。お手元の資料をご覧ください。

この委嘱につきましては、当検討委員会設置規則の第3条第2項の規定によりまして、委嘱しましたことをご報告申し上げるものでございます。詳細につきましては、次のページをご覧ください。そこに、このたびの委嘱をさせていただいた先生方のリストを提示しているところであります。それぞれの専門分野における学識経験者及び文化財保護審議委員から構成されています。

このたびの目的でございますけれども、今後の城館跡の整備の推進に係ります現地の確認ですとか、また意見聴取に加えまして、城館跡の保存管理計画及び整備基本計画の見直しに関しての意見聴取を含めて検討いた

きたいということを目的にしております。

以上でございます。

村上委員

この委員の委嘱に関して異論があるわけではありませんけれども、こうして全国でも有数の著名な先生方においでいただきますので、その機会に市民の方々、私たちも含めて学習する機会が持てればよいなということで、要望ですけれども、意見を言わせていただきました。以上です。

山本課長

確かに委員のおっしゃるとおりでございます。例えば東京大学ですとか京都大学の先生方もいらっしゃいますし、それぞれの文化行政に通じた先生方でもいらっしゃいますので、是非とも前向きに検討させていただきたいと思っております。

梅津委員

別にありませんが、村上委員に同感です。

高市教育長

それでは、この件についてよろしいでしょうか。

教育委員

=全員了承=

○報第22号 益田市総合管理計画個別施設計画（第1期）及び直近の検討状況に基づく、市民文化系施設の整備方針について

高市教育長

続きまして、報第22号 益田市総合管理計画個別施設計画（第1期）及び直近の検討状況に基づく、市民文化系施設の整備方針について事務局より説明をお願いします。

大畑推進監

まず、今年の施設計画ですが、このような現状の中で幾つかのことを整理しました。詳細につきましては金額等はまだお示しできませんが、市のサマーレビュー等で今後の財政等の位置づけ等をしていきたいということで、まずは第1弾の報告をさせていただきます。

この中で一番の懸案は、実は市民学習センターです。市民学習センターは、耐震性の診断を受けまして、耐震化の必要があるということが分かりました。しかしながら、この建物は特殊な建物です。大ホールのほうは一つの構造体、それから多目的ホールがあるところも一つの構造体、それから楽屋や下の101、102などの研修施設があるところも一つの構造体ということで、3つの構造体でできているということです。一番耐震化がないのが大ホールです。大ホールを切り離して対応したらどうだという意見も出たのですが、検討委員会が行われまして、そうするとまた再度別の経費がかかるということで、一番経費を抑えられるのは3つの構造を残したまま耐震化をすべきであるということが結論となりました。

もう一つは、市民学習センターを今後耐震化するに当たって考える上で大事なことですけど、市役所に関する問題が出てきます。市役所は耐震化を行いましたけど、残り20年間の使用のために直したというのが益田市の市役所本庁舎です。20年後に次の建物を建てるということを考えたとき、

代替地としてが一番最優先は、おそらく市民学習センターの土地だろうということが第一候補としては挙がります。そうすると、20年後に向けてこの地に市民学習センターを、今の市役所庁舎を建て替えるときに、一体的に複合的に考えることが一番合理的だろうと考えました。なぜかといいますと、市民学習センターは年間2万人以上の方が利用していますが、その60%は行政に係る会議です。すなわち、市役所の本庁舎内に会議のできる部屋が少ないということです。市民学習センターを行政が、市民または関係団体等々を含めた会議で使っているのが6割でありますので、20年後に複合的なことを踏まえた新庁舎を建てるとということが先々の課題として第一候補として上がるであろうということが今回検討委員会の中で出されました。ということで、残り20年間を耐震化しながら、設備の老朽化を改修工事することが一番合理的ではないかということが、市民学習センターの検討委員会が出した結論です。ということで、ここをまずスタートとして、残り20年を目指した耐震化、併せて設備の改修に取り組むということになりました。

それと併せて、ほかに耐震性やその他これまでの積み上げで、急ぐべきところが3つございます。

1つは、豊川生活改善センターです。ここは豊川公民館として使用しています。これも、古い建物であることと屋根の老朽化が激しくて、直さないといけないと状況です。北仙道公民館は、北仙道小学校跡を使っておりますので、木造2階建てということで、非常にここも急がれます。そして、豊田公民館、西益田公民館です。豊田公民館はとて大きいですが、ここは実は水害のときに避難場所としては認められておりません。ということもあり、地元から4年以上前から、豊田公民館、西益田公民館を1つにするということを条件に、よりみんなが集まりやすい場所での複合、2つを1つにした施設にしてほしいという要望が上がっております。

まず、豊川公民館については、原課としまして、今まで学校を公民館化するというので社会教育コーディネーターを配置して、学校が公民館的な活動をしっかり進めていきました。豊川公民館を、学校の横に、最小限度でいきますと事務室ともう一部屋ぐらいのところを隣接させていくことによって、学校を公民館化するというので、まず速やかに整備できたらと考えています。その中で、自治組織より、学童の保育園の老朽化も進んでいるので、併せてできないだろうかということのを要望で上げたいということも入っておりますので、それが入ると少し遅れるかもしれませんが、まずは今までしっかりと学校を活用し、そして公民館も屋根が非常に厳しい状態である豊川生活改善センターからしていきたいというのが最初にした理由でございます。

その次は、北仙道です。ここの体育館の利用は益田随一の社会教育の体

育館の施設ですので、これを生かしながら横に隣接して、大きさとするとかなり縮小したものを建てるのが適当だと現在考えており、積算をしているところです。その後に豊田公民館、西益田公民館の一体化ですが、ただ公民館を2から1にするのか、実はその他の機能も入れたらどうだろうというご意見もいただいておりますので、少し検討時間がないと、ここはどういうものにするのかという結論が出ないだろうということですので、令和6年度ということで計画を立てました。そして、それを踏まえながら、最終的に市民学習センターの耐震化の設計を来年度にしてもらうことで、金額が出ます。その金額により、市民学習センターの年度を前倒しにするのか、後にするのかということも考えていくということ、金額が高ければ、まずは耐震化について対応して、設備の老朽化への対応は後にするというようなことを耐震の工事設計をしたところで決めていきたいと考えています。

以上のようなことを総合的に考えて、この順番でやるということはこのたび政策へ上げていきたいと考えております。これから詰めなければならぬことは、どれぐらいの金額がかかって、どんなものをつくるかということ、地元との最終的な合意をしっかりと作りながらやっていきたいと思っておりますので、途中経過ではありますが、このような形で今後施設整備について計画的に行いたいというご報告でございます。

以上です。

中野委員

先ほどの耐震化の件につきまして、市民学習センターのことで少しご質問させていただきたいと思えます。

先ほど、説明の中で年間約2万人の利用者がある、そして行政の会議も行われているということ、また、吉田公民館の施設となっておりますし、現在協働のひとづくり推進課も設置されています。そこに大ホールがあるわけですが、随分と利用できていないような現状がございます。今回、その耐震化に対する計画の中で、大ホールについてはどのようにお考えなのか、一市民として考えましたら、大ホールというのを利用できるような形を取れば、様々なイベントなども何か計画できるのではないかという考えも私自身感じているところではございますが、そのあたりのお考えを教えてください。

大畑推進監

大ホールにつきましては、実はここは現在、市の公文書を保管する文書庫として使っております。基本的に言うと、あそこは市の公文書を保管する場所として、使っております。よって、ここを耐震化する理由の一つは、公文書をきちっと保管し、管理する場所として使われているということです。空間的にいうともったいないというのは、委員ご指摘のとおりだと思っております。ただ、今後これから5年間から10年間のスパンを設けながら、行政内の公文書のデータ化や保存したことを検討するとい

うことも併せて、このたび簡素化するということを決めて準備しておりますので、それと併せながら大ホールの在り方を考えていきたいのですが、当面のところ文書の保管をどうするかということの仕組みができ、そしてデータ化等々の保存ができる体制ができた上で、初めて大ホールが空くだろうと思っております。ということで、現状で言うと、今のまま、好きなように使えるように造る、環境にとどめることは難しいと思っています。一番大きなことは、大ホールは、グラントワと同じように特定天井で、建築法の改正により天井を変えなければならない状態ですので、今回の耐震化に伴いまして大ホールの天井を取り除く、上のところを外すというような工事をして、中に人が入ってもいい状態を、安心して入っていける状態をつくるということも入っておりますので、大ホールとして利活用することは難しい建物になっているということでございます。

以上です。

村上委員

それぞれの市民文化系施設の必要性と申しますか、そういったものを感じまして、方針に関して異論はありません。ただ、これから下のほうにも書いてありましたように、整備方針については、具体的には政策調整会議に諮って財源を、相当なものがかかってくるかというふうにも思います。そうした中で、この一定の方針が出ているこのことが、地域から見ればとてもうれしいことでもありますので、一人歩きをしていかないように、今の段階では十分取扱いに注意をしながら進めていただけたらと思いました。

以上です。

大畑推進監

ありがとうございます。あくまでも原課での考え方ということで、これから庁内で協議していくということを前提としています。これまで様々な要望とか、協議されている方たちについては、絶えず情報を公開しながら、現状の説明をするように心がけていきたいと思っております。ありがとうございます。

高市教育長
教育委員

それでは、この件についてよろしいでしょうか。
＝全員了承＝

○報第23号 令和3年度5月益田市一般会計補正予算について

高市教育長

それでは続いて、報第23号 令和3年度5月益田市一般会計補正予算について事務局より説明をお願いします。

長嶺課長

このたび、5月14日、益田市で臨時議会が開催されました。今回の5月の臨時議会は、国で新型コロナウイルスが蔓延しているという状況の中で、新型コロナウイルス感染症対応の地方創生臨時交付金という交付金が国で通っております。これに伴いまして、益田市としてどういったものに取り組んでいくかというところで、関係各課でやるべきことを提起して、議会

で議決をいただいたというものになっております。その中で、教育委員会に関わるということで上げておりますので、報告をさせていただきます。

まず、1点目です

小学校の学校維持管理費2,375万6,000円という工事費を補正で計上させていただきました。内容といたしましては、匹見の小・中学校、同一校舎になりましたが、従来の匹見小学校、ここの屋上の防水工事、それから雨漏りがするという事です。そこから水がしみて、天井、それから壁も汚れが目立っているというような状況で、工事をするという事です。従来から雨漏りはしていたのですが、今年1月に久しぶりの大雪という形で、匹見も斜めの屋根ではなくて、真っ平らの屋根で雪がなかなか解けない、解けないどころか積もった雪が凍ってしまって、どんどん劣化がひどくなってきたという状況が今年1月にありました。その頃は、新年度当初予算等では計上できなかったわけですが、そういった状況を見て、匹見地域ということでいくと、小学校は地域の皆さんが何かあったときに避難をする場所でもあるということと、劣化がひどいということで、衛生機能をきちんと保たなくてはいけないという状況もあって、この両方を鑑みて補正予算を計上させていただいたということであります。全体で屋根の改修ということで、2,375万6,000円という大きな仕事にはなりますが、市の建設部建築課がこの業務を受けて、準備に入っているという状況であります。

続いて、学校教育課より説明させていただきます。

田原課長

私のほうからは、先ほども教育総務課から説明がありました学校維持管理費の次のページにある情報教育特別対策費の小学校費と中学校費について、併せて説明をさせていただきます。

こちらにつきましては、新型コロナウイルス感染症対応の地方創生臨時交付金を活用する形で、昨年度のところで各小・中学校へGIGAスクール用のタブレットということで、1人1台のタブレットを整備してきたところですが、このタブレットに関する事業として計上させてもらったものです。小学校も中学校も同じものを購入する形になっておりますが、購入するものの内訳といたしましては、まず学校内のインターネット回線の環境を改善するための、備品購入費のところに書いてありますけれども、VLAN設定用のL2スイッチというものでして、これは一つの回線に多くの児童・生徒からの端末が、その回線を利用してネットにつながることになりますので、一つの端末に対する交通整理をするために、回線に必要になってくるものを新たに取り付けるというものでございます。それから、タブレットにつきましては、基本的には家庭に持ち帰っての活用ということになりますので、学校でも充電ができるように校内における充電キャビネットと、それからそれに付随する充電用の電源タップ等も併せ

て計上させてもらっているところです。小学校で、874万9,000円、それから中学校で425万1,000円をこのたび計上させていただいたものでございます。

私からの説明は以上になります。

中野委員

国庫支出金の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金というものについてですが、私も勉強不足で十分に理解はしていないところもあるのですが、具体的には修繕費です。今お聞きするとですね、物品の調達という形になっているのですが、そのほかに利用できるものとしてはどういったものがあるのかと思っておりまして、お聞かせいただければと思います。実際に学校現場では、ひょっとしたら必要なものがあるのではないかと考えられますので、そのあたりを教えていただければと思います。

長嶺課長

全ての事業まで詳しく分かってはおりませんが、状況といたしましては、この新型コロナウイルス感染症対策という部分ですので、コロナ対策というものに係る経費については、学校であろうが学校でなかろうが、市役所の庁内のものであろうが、そういったことに対する事業としては可能であるということが大前提になります。その上で、これだけ経済が冷え込んでいるという全国的な状況の中で、経済対策という意味も事業の中で持っています。そういった経済対策という意味と、コロナ対策、だからこの新型コロナウイルスという病気にだけ対応するというものではなくて、先ほど私が少し言いましたが、いろんな衛生面の、そういった部分に対する改修工事や維持管理ということに対して対応しても構わないということがこれです。当然、学校だけではなくて、介護施設であってもこのことは対応可能ですし、市で危機管理課の防災関係で避難所に、いざ何かありましたときに一斉に市民の方がお見えになると、非常に密集する、そういったことを回避するために、どういうものが必要なのかということで対応している部分もでございます。そういったところで、かなり幅広く対応ができます。ただ、こういった事業に対応すべきですということで要件がそれぞれの省庁で定められています。これに基づいていないものは、当然この対応にはならないわけですが、こういった省庁で提示されたものについて、各課で検討されて対応していきたいという状況にあります。これは、やればおそらく幾らでもあるという部分なのですが、一方、コロナ対策で出てくる交付金というのも各自治体限度がありますので、そういった中で取捨選択をしてやることになったところです。教育委員会については、先ほどの関係と学校の屋根の関係が益田市として優先してやっていきたいと思いますという形になったという状況です。

梅津委員

備品購入等によって、一つの回線に多くの電源が使われることが解消されるということで、電気に関する問題がなくなるわけですね。いつか、中学校でしたか、訪問させてもらったときに、あまりそれが対応できずに、

充電するときに焼き付いたような、そんな話がありましたけども、各学校にそういうふうに設備されるように、行き届いたのでしょうか。

田原課長

このたびこういった形で補正に計上されましたので、これに基づきまして、各学校へ今後の必要な物品について配備されますが、このことが3,600台全てにこれで充電できるというわけではございません。一応基本持ち帰りですので、学校での充電、緊急用の充電という形で各学校の、児童・生徒数の約3分の1がこれで充電できるだろうと考えております。各学校、施設的に一気に充電すると、やはり電力的には落ちてしまう可能性がありますので、それをうまい具合に時間をずらしていくなどしながら、充電できるようにしていきたいと考えているところです。

高市教育長
教育委員

それでは、この件についてよろしいでしょうか。
＝全員了承＝

高市教育長

それでは、以上をもちまして定例会を終わります。

次回は6月28日の15時00分から定例教育委員会を開催いたします。次回につきましてもリモート形式による会議という形で実施しますのでよろしく願いいたします。それでは以上で定例教育委員会を終了いたします。ありがとうございました。

＝終了時間 15時10分＝